



CHARTERED IN
NOVEMBER 21, 1955

THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2021年12月

札幌クラブ

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

キリスト教理解・ヒストリアン（記録）

— 主題 —

国際会長	「世界とともにワイズメン」
アジア会長	「100年を越えて変革しよう」
東日本区理事	「私たちは次の世代のために何が出来るか？」
北海道部部长	「心を高めようパート2 ワイスダムの繋りを友情の輪に」
札幌クラブ会	「踏み出そう 次の一歩」

キム・サンチェ（韓国）
大野 勉（神戸ポート）
大久保 知宏（宇都宮）
中村 義春（十勝）
柴田 伸俊（札幌）

札幌クラブ役員

会長	柴田 伸俊
副会長	伏木 康
書記	伏木 康
会計	秋葉 聡志
直前会長	宮崎 善昭

今月の言葉

「No one will be left behind」（誰ひとり取り残さない）
SDGs より引用 （伏木康選）

インマヌエル（慰満奴恵留）

北海道YMCA総主事 秋葉 聡志



今年も早いもので、クリスマスの季節を迎えます。神の独り子、イエス・キリストの降誕を祝い、神様に礼拝を捧げる時です。古(いにしえ)の時代に神からの言葉を預かった預言者イザヤの書には、イエス・キリストの降誕について預言されてい

ます。聖書には、イエス・キリストの降誕の次第が書かれています。特にマタイによる福音書冒頭の1章には、『見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。』この名は、『神は我々と共におられる』という意味である。」とあって、預言書イザヤ書からの言葉を引いて、イエスが別名インマヌエルと呼ばれる存在であることの表明から福音書が始まります。すなわち、神様が私たち人間といつも共におられることの証しとして、この世に来られたのがイエス・キリストというわけです。

「インマヌエル」という名は、キリスト教圏では「エマニエル」「マニエル」などと人の名前に用いられるようになりました。実は北海道にもこのインマヌエルという名のついた場所があるのをご存知で

しょうか。道南の瀬棚郡今金町に「神丘」というところがあります。ここは、日本の女医第一号といわれる荻野吟子の夫、志方之善（熊本県出身、同志社卒牧師）が、1891年（明治24）に北海道の利別原野に入植、そこにインマヌエルとの地名をつけ「慰満奴恵留」の漢字を当てました。「神が丘」とも訳され、1923（昭和8）年、瀬棚郡今金町字神丘となりました。まさに神が共におられる理想郷を目指した場所です。

マタイによる福音書の最後は、復活したイエスの「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」という弟子たちへの言葉で終わります。「神は我々と共におられる」で始まり、「いつもあなたがたと共にいる」で終わる、神からの一貫した私たちへの善き知らせ「福音」のメッセージです。クリスマスの時に改めてかみしめたいメッセージです。



編集部注：
今、今金町神丘に立つ「今金インマヌエル教会」です。この地は地元民に長く「インマヌエル」と呼ばれていましたが行政の要請で泣く泣く改名に同意したとのことです。

2021年11月例会
出席報告

在籍会員 8名
ゲスト 1名
ビジター 0名

例会出席 7名
出席者合計 8名

メネット 0名
メーキアツプ 0名
出席率 88%

札幌ワイズメンズクラブ 2021年12月例会

日時：2021年12月20日（月）18:30～20:00
会場：札幌 YMCA 101 教室（+リモート）
会費：1,000 円

プログラム

- | | | |
|-----------------|--------|-------|
| | 司会 副会長 | 伏木 康 |
| ① 開会点鐘 | 会長 | 柴田 伸俊 |
| ② ワイズソング、ワイズの信条 | 全員 | |
| ③ 今月の言葉 | | 柴田 伸俊 |
| ④ ゲスト、ビジター紹介 | 司会者 | |
| ④ 会長あいさつ | 会長 | 柴田 伸俊 |
| ⑤ 結婚記念日 | なし | |
| ⑥ 誕生日 | なし | |
| ⑦ 卓話 | | |

「クリスマスメッセージ」

日本キリスト教団手稲はこぶね教会
牧師 原 和人 様

- ⑧ 山崎修君入会式
入会者： 山崎 修君
司 式： 東日本区理事
大久保 知宏君

- ⑨ 諸報告
⑨ YMCA 報告 担当主事 北川 佳治
⑨ 今月の歌

「うさぎとかめ」

(柴田伸俊選)



- ⑩ 閉会点鐘 会長 柴田 伸俊

札幌ワイズメンズクラブ11月例会

日時： 2021年11月17日(火) 18:30～20:30
場所： 札幌 YMCA101 教室+GoogleMeet
参加者：柴田、秋葉、北川、中田、伏木、宮崎、
安田、(リモート参加)小野 計：8名
先月に続き2ヶ月連続の対面例会となり、卓話者にスタッフの棚瀬さんをお迎えして最近のウェルネス状況についてのお話をいただいた。(詳細はP.3)
卓話後会員からは最近の札幌市内のスポーツジム事情の話題や、YMCA のウェルネスに対する姿勢が他社と違うこと、もっと地域に根差した活動が必要だなどの熱い意見も交わされた。
後半はギター申し込みの帰路参加した安田さんを交えて、コンサートの進行状況や今後の課題について検討した。(柴田記)

札幌ワイズメンズクラブ11月事務会記録

日時：2021年11月24日（水）19:00～21:00
出席：柴田(長)、秋葉、北川、中田、伏木、宮崎
1. 12月例会・事務会について
日時：12月20日（月）18:30～20:00

① 12月例会について:

- 場所：YMCA 101 号室 ※対面&リモート
- 食事：会費/1,000 円 会食せずに弁当持ち帰り、会場内飲み物のみ用意。
- 卓話：クリスマスメッセージ
牧師に依頼 担当：宮崎

② 山崎修君の入会式:

- 立会人手配☞リモート活用。
東日本区理事大久保メン 藤井メン 中村メンの順に依頼 担当：柴田会長

③ 12月事務会:

- 日時：12月28日（火）19:00～20:00
リモート開催。1月合同例会に関して最終確認。事前に案内配信予定。・2月例会内容について協議予定。

④ 北海道部関連:

- 東日本区の「ユース活動支援」自由献金。
12月例会にてニコニコで集め、実行する。
- 2022年2月19日（土）北海道部会・第2回評議会 鹿追町然別湖畔予定

⑤ 安田文子コンサートに関して:

- 別紙要項にて課題共有・確認後、チラシ、チケット、座席表を配布した。(秋葉記)

何故この言葉を？ 伏木 康

11月下旬にYMCA 体育館で開催された「インクルーシブサッカー」に参加しました。若いも若きも、男も女も、障がいの有無、その重い軽いも一緒に楽しむサッカー、もっとも脆弱な立場の人々に焦点をあてたイベント、今後も継続してほしいという願いを込め、今月の言葉に選びました。
今回は国籍も多様化すると良いですね。

ウェルネスの重要性 北海道YMCA 幼少アクアティック・成人フィットネス担当 棚瀬 真吾



私は北海道は十勝にある帯広市で生まれました。のどかな環境で育ち、幼少期の頃は友達と一緒に、夏は水泳、冬はスケート、スキーを習っていました。中高生の時はバドミントン部に入部し、日々の練習や試合に参加をして、楽しみながら行っていました。元々体を動かすことが好きで、陸上競技や様々な球技に触れあいながら学生時代を過ごしてきました。その中で、スポーツの楽しさや素晴らしさ、そして培ってきた技術を多くの方に教えたい、知ってもらいたい、という気持ちが強くあった為、体育指導者の道を選びました。

私は2015年に北海道YMCAに入職をし、札幌ウェルネスセンターの職員として、アクアティックプログラムの指導や管理、成人フィットネス全般の管理を担当しています。

札幌ウェルネスセンターの成人フィットネス会員の特徴としては、65歳以上が70%を占めており、会員の高齢化が進んでおります。会員の多くは20年、30年と長く継続して通われている方が多いです。

近年のコロナウイルス感染症対策による行動自粛生活が長く続いた為、YMCAの既存の会員の



健康二次被害が生じています。日本全体の社会における活動量の減少で、筋力や免疫力の低下、要介護者が増加傾向にあります。特に高齢者の方は、筋力トレーニングや有酸素運動が必要とされていますが、それ以上に対人とのコミュニケーションを図ること（会話をすることで脳を刺激し、笑う事で表情が豊かになる）が大事だといえます。現在は、自粛生活が解除となり、会員同士の繋がりが戻り安心をしています。



札幌YMCAはプールやスタジオがある総合型クラブになりますが、日本のフィットネス業界は多様化が進んでおります。小型24時間セルフジムや女性専用サーキットジム等が増加しています。以前とは違い、近年は総合型クラブ会員のステータスよりも、自身のニーズに合ったプログラムやコミュニティを求めるような志向に変化していると考えます。

私達ウェルネスセンタースタッフは、会員のニーズに応え、ウェルネス（輝くように生き生きしている状態）を会員と共に寄り添いながら作り上げる事をミッションとして、様々な課題克服に向けて日々の業務に励んでいます。



札幌会館は今後新しくなる予定です。これからも地域のシニア層を対象に、YMCAの良さを幅広く知っていただき、運動だけではなく、地域の憩いの場、交流の場となれるように、ポジティブネットの推進をしていきたいと思っております。



YMCAニュース 担当主事 北川 佳治

1. スキーリーダートレーニング(実施報告)

12月5日(日)札幌国際スキー場にて、スタッフ・ユースボランティアリーダー対象のスキー実技トレーニングを実施しました。



今年もYMCA スキースクール教師の新保先生と菅原先生にご指導をいただきまして、スタッフ8名、ユースリーダー4名が技能別にそれぞれの知識とスキルの向上を目指しました。

札幌YMCAのスキースクールは、12月26日(日)より順次開始となります。子ども達の貴重な冬の体験活動にできるよう、スタッフ・ユースリーダー一同、準備を整えてお待ちしております。



2. 幼稚舎クリスマスページェント(実施報告)

12月7日(火)札幌YMCA会館にて、幼稚舎園児によるクリスマスページェントが行われました。それぞれの役を一生懸命演じて、イエス様の御降誕を保護者、先生と共に祝いしました。

緊張している子、誇らしげに演じた子など、それぞれに思いを巡らせて行った劇ですが、多くの保護者の前で、練習の成果を見てもらえた園児たちは皆、また一つお兄さんお姉さんの顔つきに変わっていました。

この体験で培った様々なことが、子ども達の今後の成長の糧になりますよう、お祈り致します。

(写真は昨年度)



3. 小学生英語暗唱大会(実施報告)

12月4日、小学生による英語暗唱大会が札幌YMCA会館にて開かれました。コロナ禍の為、マスクを着用しながらの大会でしたが、ジェスチャーなどを用いて表現を工夫しながら発表をしていました。

今年の優勝者は、第1回目の2017年度から毎年参加している米谷心一朗君



安田文子会員 ショパン・コンサート復活

長く札幌ワイズメンズクラブの看板のチャリティ事業だった「安田文子時計台コンサート」は昨年は「コロナ禍」のため、中止せざるを得ませんでした。この度、コロナも小康状態に入り「まん延防止等重点措置」が解除になりましたので、定員の半分に抑えるなど、万全の防止対策を講じたうえで再開することに致しました。場所は「時計台ホール」ではなく、「キタラ小ホール」に移しました。共演者は日本人チェリストの第1人者と言われる津留崎直紀さんです。

必ずご満足頂けると思います。師走21日ショパンの調べに酔いしれて、よい年をお迎えください。

チェロとピアノの調べを

津留崎 直紀 安田 文子
チェロ & ピアノ コンサート

Naoki Tsurusaki
Ayako Yasuda
Violoncello & Piano
Concert




ピアノ: 安田 文子

チェロ: 津留崎 直紀

2021年

12月21日(火)

18:30

開演 (17:30開場)

Program

ショパン作曲

練習曲 第6番 変ホ短調 Op.10-6
序奏と華麗なポロネーズ 八段調 Op.3
チェロソナタ短調 Op.65 ほか

※予定

札幌コンサートホールKitara 小ホール
(札幌市中央区中島公園1番15号)

全席指定 1,000円

チケット取扱所

Kitaraチケットセンター TEL: 011-520-1234
札幌市民交流プラザチケットセンター TEL: 0570-00-3871
道新プレイガイド TEL: 0570-00-3871
教文プレイガイド TEL: 011-271-3355
北海道YMCA TEL: 011-561-5217

オンラインチケット <https://tiget.net/events/156882>

主催・お問い合わせ

ポーランド研究会
TEL: 050-5899-5300 FAX: 011-662-6378
E-mail: poland@ayakoyasuda.net
ホームページ
<http://www.ayakoyasuda.net>
<https://poland18100301.wixsite.com/poland>
fb.com/ayakoyasudachopin

後援 札幌ワイズメンズクラブ・北海道YMCA
札幌市・札幌市教育委員会・北海道新聞社

協賛 円山手つなぎ保育園

津留崎直紀さんプロフィール

1953生まれ。東京芸術大学在学中にフランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に学び、主席で卒業。以来30年以上リヨン国立歌劇場を拠点にヨーロッパで活躍。最近は拠点を東京に移シソロ・作曲活動で好評を得ている。作曲も多数ある。

ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。